



令和6年度 第3回 感染対策向上合同カンファレンス

事例から考える感染症対策

(新興感染症発生等を想定した訓練を含む)

2025年2月12日

福岡市立病院機構 福岡市民病院

感染管理認定看護師 山添知加子

2025年2月に福岡市医師会および市内感染対策向上加算1届出医療機関との共催により、第3回感染対策向上合同カンファレンスが行われました。

そこで「事例から考える感染症対策」と題し、感染対策における適切な対応習得を目的に発表しました。感染症を疑う患者さんの来院を想定した事例を通して、院内感染防止につなげるためにどのように行動するべきか、今回発表したスライドを一部、解説を加えてご紹介します。

本資料が各ご施設での研修等企画の一助になれば幸いです。



外来診療の特徴

幅広い年齢層や多様な症状を呈する患者などが来院する

初診患者と再診患者が混在し、同時に限られたエリアを共有する

患者の状態を把握し、迅速かつ的確な診断や治療等を選択するための観察力と判断力が求められる



事例紹介(外来)

年齢・性別：20代の男性

国籍：ベトナム

症状：3日前から38度台の熱・咳、口腔内に斑点、結膜充血
いったん解熱後、39度の熱と発疹

来院方法：車、自立歩行

追加情報：10日前に来日



病院やクリニックにおける外来診療では、複数の患者さんが短時間に同じ空間を共有するという特徴があります。そのため外来患者さんの状態をできるだけ早く把握して、適切な対応を実施することが求められます。感染症不明な患者さんが来院されたという設定で、身体所見も含め事例を提示し、何の疾患を疑うか、どんな対策が必要になってくるかを予測してもらいました。



患者の経過や身体所見から疑う疾患は？

- ①MERS(中東呼吸器症候群)
- ②デング熱
- ③麻疹
- ④風疹



医療従事者が使用するPPEはどれですか？
選んでください。

- ①医療従事者はサージカルマスクを使用する
- ②医療従事者はN95マスクを使用する

来院患者さんの経過や身体(画像)所見から疑う疾患は何か、疾患を疑った際に医療従事者が使用したほうが良い个人防护具は何かという問題を出して、会場に来場されていた方には挙手で回答してもらいました。

以降の質問は、麻疹を疑う患者さんが来院したという設定で答えて頂きました。



患者に使用してもらうものはどれですか？

①サージカルマスクをつけてもらう



②N95マスクをつけてもらう



③手袋をつけてもらう



患者さんはどこで待機してもらいますか

①待合室で待機してもらう

②個室または自家用車で待機してもらう

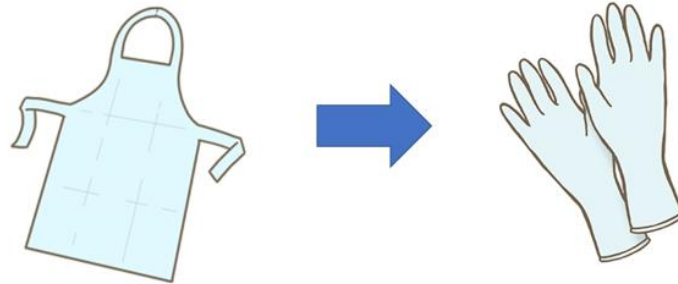
③自宅で待機してもらう

医療従事者が自身を守るため、他患者さんへ感染を拡げないために個人防護具を使用することは大切です。それと同時に感染症を疑う患者さん自身に協力依頼をする必要がある場合があります。そのような内容に関する問題を提示し、皆さんに考えて頂きました。



麻疹患者を想定した訓練

个人防护具を着衣する順番



着脱訓練(脱衣の順番と手指消毒)



麻疹を疑う患者さんと接する場合は空気予防策を基本とし、患者さんの皮疹等に触れる場合は个人防护具を着衣する必要があります。患者さんとの会話や皮疹の診察などで使用する个人防护具着脱の順番をお伝えしました。特に个人防护具の外側(患者さんとの接触面)は直接触れないよう注意し、手指消毒を行いながら脱衣していくことは、自身や周囲への感染を拡げないためにも大切な技術です。

 個人防護具着脱のタイミング			
伝播様式	PPEの種類	着るタイミング	脱ぐタイミング
空気感染	N95マスク	患者区域に入る 時点で装着	患者区域をでた 後 で 脱いで手指衛生
接触感染	手袋	患者区域に入る 時点で装着	患者区域をでる 前 に 脱いで手指衛生
	エプロン (ガウン)		

空気感染や接触感染の伝播様式をとる場合、個人防護具着脱のタイミングは違います。

空気感染では、医療従事者が診察などで患者さんと同じ空間にいる時は N95 マスクを着衣し、患者さんがいる隔離室から離れた後に脱ぎましょう。これは浮遊している病原体を含んだ飛沫核を吸いこまないようにするためです。接触感染では、患者さんや患者区域にあるモノについた病原体との接触を介して伝播し、別の患者さんや他の場所へ持ち込まれます。これを防止するため、患者区域に入る時点で着衣し、患者区域を出る時点で脱衣します。

<おわりに>

- ✧ 患者さんが来院された時、症状や身体所見を把握し、感染リスクは何があるかを想定して、個人防護具を選択しましょう
- ✧ 感染症を疑う場合は患者さんにお願ひし、マスクの着用依頼や別場所への隔離など感染拡大防止に努めましょう
- ✧ 手指衛生は個人防護具着脱時も行い、曝露を回避しましょう